

# 国際ワークショップ

## 「デモクラシーにおけるベーシック・インカム」

フィンランドやスイスなど、所得保障制度としてのベーシック・インカム(BI)に注目が集まっている。BIは、生存の所得に関する保障であるだけにとどまらず、さまざまな政治思想との関連で議論されている。BIにかかわる政治哲学・政治思想に関して、民主的人間観・市民参加の推進とBIについてザーシャ・リーバーマン教授(ドイツ・アラヌス大学)より、正義・平等といった政治理論とBIについて飯田文雄教授(神戸大学)に講演いただき、民主的人間観や価値観、とくに日本におけるデモクラシーのあり方との関係から生存の哲学としてのBIの意義と可能性に迫る。

・日時: 2016年6月30日(木) 16:30 - 18:30

・場所: 立命館大学衣笠キャンパス 創思館303教室

### ・プログラム

司会: 井上彰(立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授)

16:30 - 16:40 趣旨説明: 別所良美

(名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科教授)

16:40 - 17:20 講演1 Autonomy, Community, and Democracy:

Prospects of an Unconditional Basic Income

ザーシャ・リーバーマン(Sascha Liebermann)

(ドイツ・アラヌス大学教授)

17:20 - 17:50 講演2 Between Basic Income and Multiculturalism:

Some Tensions and Some Hopes

飯田文雄(神戸大学大学院法学研究科・法学部教授)

17:50 - 18:00 休憩

18:00 - 18:30 総合討論

ディスカッション・ファシリテーター:

村上慎司(立命館大学大学院先端総合学術研究科研究指導助手)

18:30 閉会

・使用言語: 報告および討論は英語(質問は日本語でも受付可)

・主催: 立命館大学生存学研究センター、科学研究費・基盤研究(C)

「ベーシック・インカムとESDとの哲学的連関についての日独共同研究」

(研究代表者: 別所良美)

・問い合わせ: [sentan01@st.ritsumeai.ac.jp](mailto:sentan01@st.ritsumeai.ac.jp)(村上慎司宛て)

